

ユーザーブリテン

Applied Biosystems 3730/3730x/ DNA Analyzer

April 2006

SUBJECT: TargetSeq™ Resequencing System

インストール前の重要情報 新しく提供するTargetSeq™ Resequencing Systemは3730シリーズを利用する、小さなExonや小さなターゲット領域の塩基配列を決定するハイスループット・リシーケンスシステムとしてデザインされています。
3730/3730xシステムにおいて、36cmのキャピラリーを用い20分で400塩基(QV20)の泳動が可能です。

TargetSeq™ Resequencing Systemのインストールを始める前に:

- TargetSeq™ Resequencing Systemは3730/3730x/ 36cmキャピラリーシステム、POP-7™ポリマー、BigDye® Terminator v3.1用に設計されています。
- TargetSeq™ Resequencing Systemインストールに必要なソフトウェアのバージョンは以下に示すとおりです。
 - 3730/3730x/ Data Collection Software v3.0
 - Applied Biosystems Sequencing Analysis Software v5.2
 - Applied Biosystems SeqScape® Software v2.5 (オプション)

注: システムが一致していない場合はソフトウェアバージョンをアップグレードする必要があります。

- 全てのステップを順番通りに行ってください (Cancelボタンをクリックしたり、ウインドウやダイアログボックスを閉じたりしないで下さい)

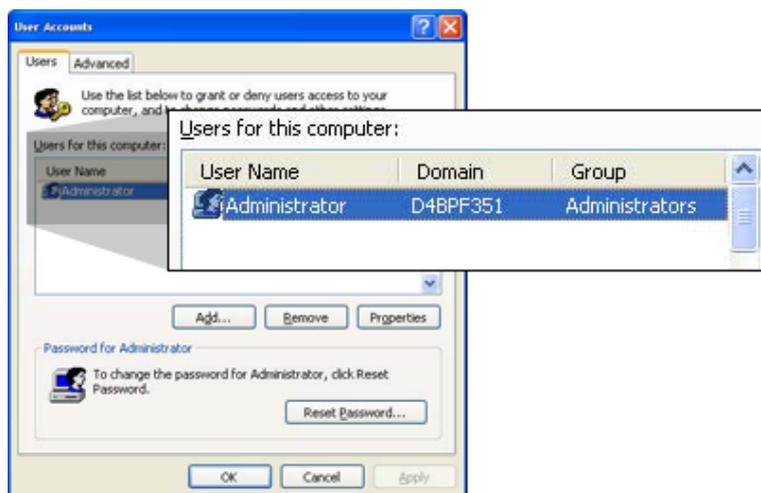
重要: アップグレードやインストールに要する時間短縮と確実に作業を終了させる為に、**Cleanup Processed Plates** をあらかじめ行う事をお勧めします。 インストール作業によりデータベース中の **Plate Record** 等のデータが消えることはありませんが、各種設定を記録しておく事をお勧めします。

Data Collection Software v3.0:TargetSeq™ Resequencing Systemインストール

- コンピューターシステムの確認
- TargetSeq™ Resequencing Systemをインストールする前に、コンピューターへのログインユーザーアカウントを確認します。
 - Localコンピューターとして起動されているか(Networkドメインで起動している場合はインストール出来ません)
 - Administrator権限を持つユーザーアカウントで起動しているか

確認方法

- ① デスクトップ > Start > Control Panel あるいは Start > Settings > Control Panel を選択します。
- ② Control Panel 内の **User Accounts** を開きます
- ③ User Accounts ダイアログボックスの **User** タブを選択します。使用しているユーザーアカウントにローカルコンピューターの Administrators group に属しているかどうか確認します。



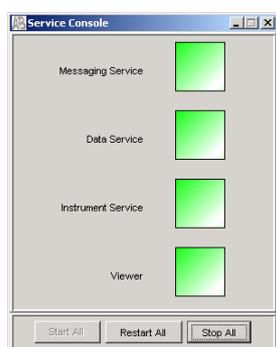
- ④ **OK** ボタンをクリックして User Accounts ダイアログボックスを閉じます。

インストール 手順

TargetSeq™ Resequencing System のインストール手順を示します。

1. コンピューターを再起動します。
2. Administrators権限を持つユーザーアカウントでコンピューターを起動します。
3. 全てのアプリケーションが終了していることを確認します。
4. 3730/3730x/Data Collection Software v3.0を起動します。

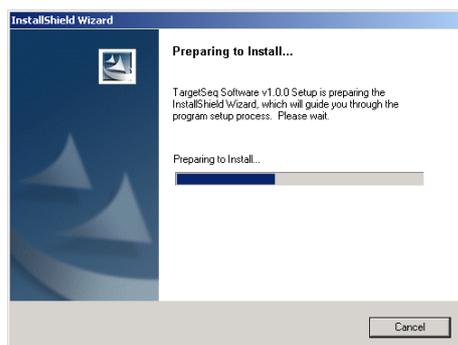
もし、自動で起動しない場合は、**Start All**をクリックします。



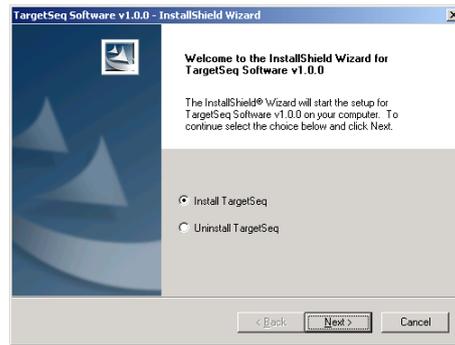
5. TargetSeq Software Update CDを挿入します。

もし、自動で起動しない場合は、

- a. **My Computer**を右クリックで選択し、メニューから**Explore**を選択します。
- b. ナビゲーターから**CDドライブ**を選択します。
- c. **Setup.exe**ファイルをダブルクリックして起動します。



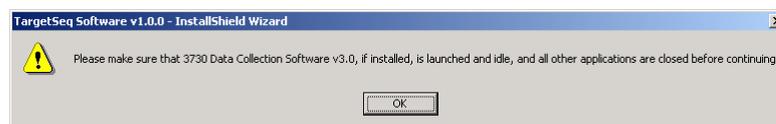
6. Install Wizardが起動しますので、**Install TargetSeq**を選択して、**Next**をクリックします。



7. Release Notesが表示されますので、確認後**Next**をクリックします。



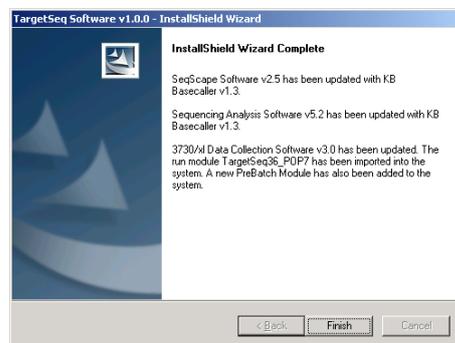
続いて、全てのアプリケーションを終了するよう要求してきます。



8. Data Collection Softwareを除いた全てのアプリケーションを終了していることを確認して**OK**をクリックします。

Update Filesのコピーに続きインストールが始まります。

9. インストールが終了するとインストールされたファイル内容が表示されます。



10. **Finish**をクリックしてInstallShield Wizardを終了します。

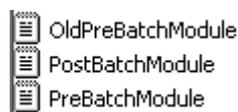
11. これでRun Module、KB™ Basecaller v1.3、Pre-batchファイルのインストールが完了しました。

12. TargetSeq Software Update CDをCDドライブから取り出し、コンピューターを再起動します。

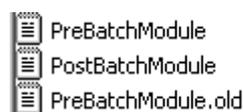
Pre-batch ファイルの 設定

TargetSeqシステムのインストールが完了すると、Pre-batchファイルもTargetSeqシステム用にアップグレードされています。そのままでもTargetSeq以外の泳動は可能です。TargetSeq用Pre-batchファイルはSample PlateをLoadする前に泳動精度を向上するために温度等のコントロールを実施します。TargetSeq用Pre-batchファイルを使用したくない場合はダウングレードすることが出来ます。以下の手順に従って実施してください。

1. Data Collectionを終了します。
2. Pre-batchファイルは以下の階層に保存されています。
E:\AppliedBiosystems\UDC\DataCollection\SupportFiles
ga3730\ServiceModules
3. ServiceModulesフォルダー内のPreBatchModule.txtファイルのファイル名をPreBatchModule.oldに変更します。



4. ServiceModulesフォルダー内のOldPreBatchModule.txtファイルのファイル名をPreBatchModule.txtに変更します。

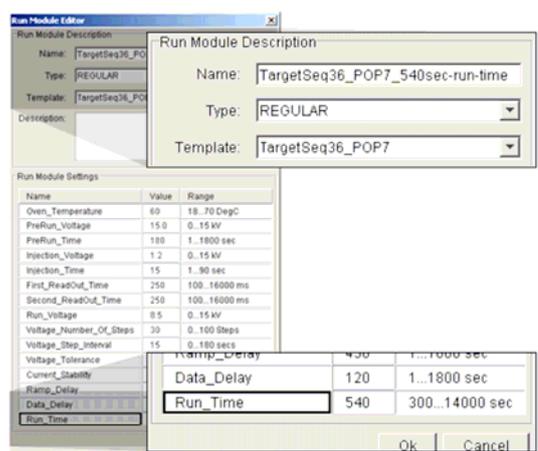


5. これでPre-batchファイルのダウングレードが完了しました。
6. Data Collectionを再起動します。

Protocol の作成

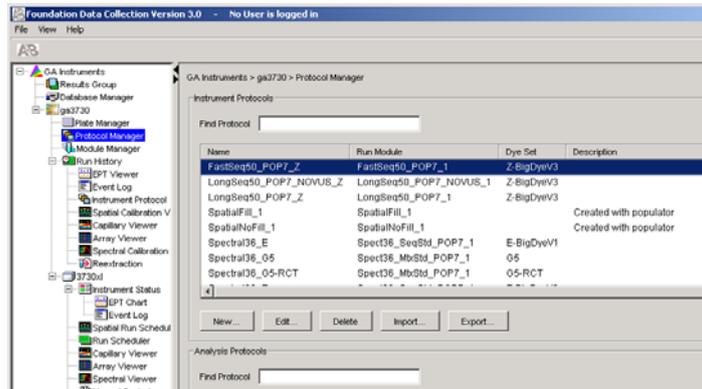
続いてData Collectionソフトウェアで泳動に必要なRun ModuleやInstrument Protocolを作成します。

1. Data Collection Software v3.0を起動します。
2. TargetSeq Moduleをカスタマイズする場合は、新しいRun Moduleを作成するために、**Module Manager**を選択します。必要ない場合は10.へ進んで下さい。
3. **New**をクリックします。
4. Run Module Editorダイアログボックスで設定を行います。
5. Name欄に新しいRun Moduleの名前を入力します。
6. Type欄は **Regular** を選択します。
7. Template欄は **TargetSeq36_POP7**を選択します。

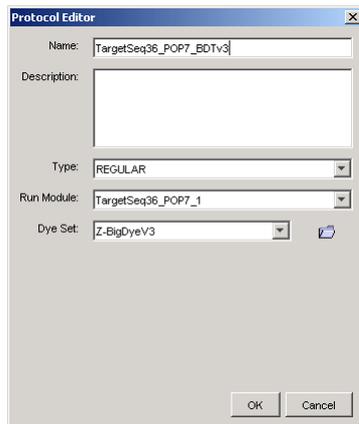


QV20 Base	Run_Time (sec)
200	380
300	490
400	590

8. 右表を参考に**Run_Time**を変更することが出来ます。
9. **OK**をクリックし、Run Module Editorダイアログボックスを終了します。
10. 次に、Instrument Protocolを作成するために、**Protocol Manager**を選択します。



11. **New**をクリックします。
12. Protocol Editorダイアログボックスで設定を行います。
13. Name欄に新しいInstrument Protocolの名前を入力します。
14. Type欄は **Regular** を選択します。



15. Run Moduleは**TargetSeq36_POP7_1** (デフォルト)あるいは先に作成したRun Moduleを選択します。
16. Dye Setは**Z-BigDyeV3**を選択します。
17. **OK**をクリックし、Protocol Editorダイアログボックスを終了します。
18. 必要であれば、Analysis Protocolも作成します。
19. 以上で設定は完了です。

3730システム以外のコンピューターにインストールされている Sequencing Analysis Software v5.2 および SeqScape[®] Analysis Software v2.5 の KB[™] Basecallerインストール手順

3730システムで得られたデータを、システム制御以外のコンピューターにインストールされたソフトウェアで解析する場合、同様にTargetSeq[™] Resequencing System KB[™] Basecallerのインストールが必要になります。

- TargetSeq[™] Resequencing Systemインストール可能なソフトウェアのバージョンは以下に示すとおりです。
 - Applied Biosystems Sequencing Analysis Software v5.2
 - Applied Biosystems SeqScape[®] Software v2.5 (オプション)

注: 3730システム以外のData Collection Softwareがインストールされている制御コンピューターや、対象ではないバージョンのソフトウェアにインストールすることはできません。

1. コンピューターを再起動します。
2. Administrators権限を持つユーザーアカウントでコンピューターを起動します。
3. 全てのアプリケーションが終了していることを確認します。
4. TargetSeq Software Update CDを挿入します。
もし、自動で起動しない場合は、
 - a. **My Computer**を右クリックで選択し、メニューから**Explore**を選択します。
 - b. ナビゲーターから**CDドライブ**を選択します。
 - c. **Setup.exe**ファイルをダブルクリックして起動します。
5. Install Wizardが起動しますので、**Install TargetSeq**を選択して、**Next**をクリックします。
6. Release Notesが表示されますので、確認後**Next**をクリックします。
続いて、全てのアプリケーションを終了するよう要求してきます。
7. 全てのアプリケーションを終了していることを確認して**OK**をクリックします。
Update Filesのコピーに続きインストールが始まります。
8. インストールが終了するとインストールされたファイル内容が表示されます。
9. **Finish**をクリックしてInstallShield Wizardを終了します。

研究用にもみ使用できます。診断目的およびその手続き上での使用は出来ません。

Applied Biosystems, BigDye and SeqScape are registered trademarks and AB (Design), Applera, KB, POP-7 and TargetSeq are trademarks of Applera Corporation or its subsidiaries in the US and/or certain other countries.

本誌に記載の社名および製品名は、弊社または各社の商標または登録商標です。